

令和2年度（2020年度）
公益社団法人 茨城県作業療法士会
総会議案書

令和2年6月7日（日）

10時00分～11時15分

Web 総会（Web 会議ツール「Zoom Cloud Meetings」を使用）

【 総会次第 】

開会の挨拶（総会議事運営委員長）

1. 議長（会長）挨拶
2. 定足数報告（総会議事運営委員長）
3. 書記 任命
4. 議案
 - 第1号議案 令和元年度事業報告の件
 - 第2号議案 令和元年度収支決算書・監事意見書報告の件
 - 第3号議案 令和2年度（2020年度）事業計画(案)の件
 - 第4号議案 令和2年度（2020年度）収支予算(案)の件
 - 第5号議案 代議員制度導入の件
 - 第6号議案 その他〔報告・案内〕
 - 1) 外部監事の変更について
 - 2) 茨城県の立ち入り検査（第2回目）の報告について
 - 3) 新規入会方法等について
 - 4) 今後の研修会等の開催方法について
 - 5) 第12回茨城県作業療法学会報告および第6回北関東信越ブロック学会への演者推薦について
 - 6) 第13回茨城県作業療法学会（第24回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会・第6回北関東信越ブロック学会合同開催予定）の案内について
5. 議長解任

閉会の挨拶（総会議事運営委員長）

第1号議案 令和元年度事業報告の件

1. 主要目標

会長：大場 耕一

1) 茨城型地域包括ケアシステム構築への支援

各医療圏内における担当者間での情報共有や連携、さらには市町村単位での連携構築・強化を進めてきたが、当該システムの完成年度までの5年間を見据えた内容としては、いまだ目標を達成したとは言い難い状況にある。さらに各会員への啓発活動や研修等の企画など、さらに推進していかなければならない。

2) 公益社団法人としての組織力強化

中央組織（日本作業療法士協会）と連動した形での組織・システムの再編を中・長期のスパンで取り組んできた。ことに会員としての“力点”を明確に示し、各自が明確に意識できるように進めてきた。結果的に「組織率の底上げ」を果たしたうえで、会員数増加という結果を残すには、厳しい内容となった。引き続き、組織力に対する効果検証を継続したうえで、さらなる啓発が必要といえる。反面、民間やスポーツ団体等とのコラボレーションの要望も増えてきており、内外共に実践の成果も見えた1年でもあった。

3) 研修の推進、県士会学術集会およびブロック合同学会の継続・発展

市民公開講座、日本作業療法士協会と連動した生涯教育講座、広域ブロックでの学会、そして県学会と引き続き学術団体としての使命を十分に果たすことができた。残念ながら、年度末に予定していた複数の研修会に関しては、コロナ感染症の影響もあり、中止・延期を余儀なくされたが、この逆境により「オンライン研修の検討」やこれまで以上に柔軟な対応策を検討できたことは、今後の学術団体としての好機になったともいえる。

4) 行政連携型事業の強化

認知症施策、がんに関するリハビリテーション、障害と自動車運転、精神保健領域施策、発達障害児・者に対応した施策など、行政と連携して実施すべき事業に向けた取り組みを進めることができた。ただし、一部の研修活動などは、コロナ感染症の影響で延期を余儀なくされた事業もあり、新年度への持ち越し事業とした。

5) 広報・啓発に向けた基盤整備

広報戦略としてのメールマガジンやホームページ等、混乱なく情報発信することができた。年度末に予定していた診療報酬改定に係る研修会に関しては、中央組織の中止を受けて、士会内での伝達講習を取りやめたものの、迅速にホームページ上での相談窓口を開設し、対応することができた。また、中央組織からの情報も随時、会員へ向けた情報提供を果たすことができた。

6) 災害支援への組織力強化

台風19号の県内での被災はあったが、関連団体とともに県担当者との協議や、県医師会をはじめと他団体の動向を見据えつつ、支援活動への準備を行った。また会員の安否確認も実施したが、実際の被災規模が限定的であったこともあり、レスポンスが乏しかったことは、今後への課題であった。

7) 女性会員の事業参画促進に向けた取り組み

研修会等での託児室併設と並行して、保育者の人材バンク制度開始への準備年度となった。

2. 事務局

事務局長：小森 裕一

1) 会員及び組織に関する報告

正会員 令和2年3月31日現在 1,016名(内休会者7名)

※令和元年度 入会 82名 退会 59名

2) 総務部：部長 荒井 裕久 / 事務局次長 大内 康雄

(1) 各種申請に関わること

(2) 総会および理事会、監事会等の会議運営に関すること：下記の通り実施

①総会

令和元年度定時社員総会

日 時：令和元年6月2日(日) 11:15~13:22

場 所：茨城県立医療大学 講義棟 大講義室

②監事会

令和元年度監査会

日 時：令和元年5月12日(日) 9:00~10:00

場 所：茨城県作業療法士会事務所(茨城県保健衛生会館内)

参 加：中山、西、大場、小森、大内、武士、荒井

監査内容：平成30年4月1日から平成31年3月31日までの財務諸表(財産目録、収支計算書、貸借対照表)と事業報告書をもとに、監事により財務及び理事の業務執行の状況等の監査を実施した。

③理事会・常任理事会及び審議事項

<理事会>

第3回理事会(平成30年度)

日 時：令和元年5月12日(日) 10:15~12:00

場 所：茨城県作業療法士会事務所(茨城県保健衛生会館内)

審議事項：決算報告・会計監査に関して、講師謝金規定一部変更について、平成30年度(2018年度)事業報告の承認の件、定款細則表彰規程について、2019年度第1回47都道府県委員会について、第12回茨城県作業療法学会について、障害者スポーツ大会コンディショニンググループに関する進捗状況、黒木前会長の祝賀会開催報告、訪問リハ財団主催の地域リーダー研修会について、役員改選に伴う選挙について、監査に向けた必要書類の集約について、総会時の役割の確認について

第1回理事会

日 時：令和元年6月2日(日) 14:00~14:50

場 所：茨城県立医療大学 講義棟126教室

審議事項：会長・副会長・常任理事・選挙管理委員の選任、講師謝金規定一部変更について、いきいき茨城ゆめ大会進捗状況、第12回茨城県作業療法学会進捗状況、登記変更・変更届の提出について

第2回理事会

日 時：令和2年3月6日(金) 18:30~22:10

場 所：Web会議(Zoomを使用するオンライン会議)

審議事項：2020年度からの生涯教育基礎ポイント付与方法について、子ども委員会の設立について、令和2年度事業

計画の承認について、代議員制度について、総会の開催について、休会届け者の承認について、倫理関連、新型コロナ感染症にかかるリサーチ作業、学会参加費の再検討について、令和2年度予算案の確認、令和元年度（H31年度）事業遂行状況の確認、令和2年度外部監事について、茨城県eスポーツ支援について、研修会時託児所運用規程とリーフレットについて、市民公開講座開催報告、第12回茨城県作業療法学会開催報告、第13回茨城県作業療法学会、第6回北関東信越ブロック学会について

<常任理事会>

第1回常任理事会

日 時 : 令和元年7月7日(日) 9:00~10:35

場 所 : 茨城県作業療法士会事務所(茨城県保健衛生会館内)

審議事項: 地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会について、登記変更の方法について、第5回北関東信越ブロック学会演題発表者派遣について、第6回北関東信越ブロック学会開催日程について、医療圏での研修会について、特別支援教育に関する県土会の窓口業務について、子ども委員会の設立について、会員証規定の変更について、いきいき茨城ゆめ大会進捗状況について

第2回常任理事会

日 時 : 令和元年9月3日(火) 19:30~21:50

場 所 : 茨城県作業療法士会事務所(茨城県保健衛生会館内)

審議事項: 連絡網の作成について、「心のバリアフリーとリハビリテーションを推進する映画作成」支援金協力について、事務所USBメモリーについて、地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会の報告と事業計画について、市民公開講座(小児分野)開催について、学童保育に対する作業療法の連携について、ベネッセ子ども基金助成応募について、いきいき茨城ゆめ大会について、2019年度監査について、茨城ロボッツについて、高次脳機能障害支援ネットワーク協議会の報告について、市民公開講座について、学会進捗状況について、月次提出における証憑紛失時の対応について、茨城県作業療法士会からの茨城自民党への政策提言について

第3回常任理事会

日 時 : 令和元年11月12日(火) 19:32~21:23

場 所 : 水戸赤十字病院作業療法室(水戸市三の丸3丁目12番48号)

審議事項: 監督庁監査実施・指摘事項について、託児所保育士バンクリストについて、地域ケア会議人材育成研修会について、令和2年度事業計画・予算案の確認、監事変更について、第12回茨城県作業療法学会進捗状況報告、代議員選挙について、事務員賞与について、IRPA事業について

第4回常任理事会

日 時 : 令和2年1月23日(木) 19:34~22:37

場 所 : 茨城県作業療法士会事務所(茨城県保健衛生会館内)

審議事項: 託児所保育士バンクリスト作成について、代議員制度の導入について、学会実行委員、運営委員の参加費等の取扱いについて、生活行為工夫情報モデル事業の参入について、子ども委員会の設立について、令和2年度予算案について、外部監事の変更について、第12回茨城県作業療法学会進捗状況、令和2年度事業計画について、令和2年度社員総会について、令和元年度生涯教育担当者会議報告、懲罰委員会における事案について、茨城JRATに関する報告

3) 庶務部: 部長 磯 智和

(1) 会員の入退会等会員管理に関すること : 入会案内文作成・送付。申込み用紙管理。会員名簿管理。

会員証の送付。

- (2)会費滞納に関する事 未納者リスト作成。督促状による督促。除籍者対応。
- (3)会員所属施設メール連絡網に関する事 (総務部と連携) : 地震による被害状況確認および集計・データ保管。
- (4)関係団体名簿に関する事 : 関係団体名簿更新。
- (5)議案書、会議資料、議事録に関する事 : 各種資料作成・保管。議案書印刷・封入・送付。
- (6)学術誌、各研修案内等印刷および郵送に関する事 : 関係者との連絡調整。印刷・封入・送付。記録・保管。
- (7)学会賞、県士会長賞等雑務に関する事 : 関係者との連絡調整。受賞会員名簿保管。賞状・副賞準備。
- (8)日本作業療法士協会会員管理システムに関する事 : 連動したシステム構築および運用。
- (9)儀礼関係、内外の送信に関する事

(学会賞受賞会員名簿作成、賞状の手配については、教育・学術局の学会部担当。)

①年賀状送付：全国の作業療法士養成施設、全国の作業療法士会、県内関係団体、会員施設、関係議員に対して
378 通送付。

【関係会議等への参加】

- 平成 31 年 4 月 5 日 高橋やすしを励ます会 (小森副会長)
- 平成 31 年 4 月 13 日~14 日 日本作業療法士協会 47 委員会 (大場会長、寛部長)
- 平成 31 年 4 月 16 日 「専門職大学設置に関する意見交換会」 (大場会長)
- 平成 31 年 4 月 27 日 川津陸県議会議長就任祝賀会 (寺門常任理事)
- 平成 31 年 4 月 27 日~28 日 訪問リハ・地域リーダー会議 (細田部長)
- 令和元年 5 月 10 日 岡田広参議 政経会 (大場会長、寺門常任理事、中村委員長)
- 令和元年 5 月 18 日 いばらき看護の祭典 (大場会長)
- 令和元年 5 月 22 日 水戸まちなかフェスティバル実行委員会 (吉田部長)
- 令和元年 5 月 25 日 上月良祐参議 国政報告会 (武士部長)
- 令和元年 5 月 28 日 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会全国設置・運営業務事業説明会
(大場会長、小山部長)
- 令和元年 5 月 30 日 福祉サービス振興会 講演会・交流会 (寺門常任理事)
- 令和元年 6 月 1 日 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 (大場会長)
- 令和元年 6 月 10 日 水戸まちなかフェスティバルイベント部会 (吉田部長)
- 令和元年 6 月 19 日 茨城県総合リハビリテーションケア学会理事会 (大場会長)
- 令和元年 6 月 20 日 茨城県看護協会通常総会 (大場会長)
- 令和元年 6 月 23 日 茨城県理学療法士会定時総会 (大場会長)
- 令和元年 6 月 28 日 茨城県介護職員腰痛予防モデル施設検討委員会 (大場会長)
- 令和元年 6 月 29 日 田所嘉徳衆議 国政講演会 (中村委員長)
- 令和元年 7 月 13 日 全国障害者スポーツ大会 資格審査参加
(荒井部長、柘植部長、三木 OT:総和中央病院、浅野 OT:石崎病院)
- 令和元年 7 月 15 日 全国障害者スポーツ大会 サポート研修会 (柘植部長)
- 令和元年 7 月 18 日 地域リハ支援体制連絡会議 (大場会長)
- 令和元年 7 月 22 日 茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会実行委員会
(橋本 OT:介護老人保健施設エバーグリーン)

令和元年 7月 27日~28日 日本作業療法士協会 47委員会 (大場会長、笥部長)

令和元年 8月 3日~4日 地域ケア会議及び介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会 (新堀部長)

令和元年 8月 7日 水戸まちなかフェスティバルイベント部会 (吉田部長)

令和元年 8月 21日 茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会実行委員会
(橋本 OT:介護老人保健施設エバーグリーン)

令和元年 8月 25日 MTDLP 士会連携推進連絡会議 (大場会長、藤木部長)

令和元年 8月 26日 いばらき自民県連政務調査会 (大場会長、中村委員長)

令和元年 8月 30日 水戸まちなかフェスティバルイベント部会 (吉田部長)

令和元年 9月 5日 「大井川知事を激励する会」 (小森副会長)

令和元年 9月 21日~22日 臨床実習指導者研修会 世話人 (大場会長、笥部長、中村委員長、他 8名)

令和元年 9月 25日 茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会実行委員会
(橋本 OT:介護老人保健施設エバーグリーン)

令和元年 9月 28日~29日 臨床実習指導者講習会 (若山理事、唯根部長)

令和元年 10月 16日 茨城県総合リハビリテーションケア学会理事会 (大場会長)

令和元年 10月 27日 第 35 回全国研究集会 in 茨城
(大津 OT:茨城北西総合リハビリテーションセンター、島田 OT:池田病院)

令和元年 11月 9日~10日 認知症作業療法推進委員会 (小山部長、島田 OT:池田病院)

令和元年 11月 10日 令和元年度あすなろ祭ボランティア参加 (荒井部長、他 OT7名)

令和元年 11月 13日 茨城県表彰式 (大場会長)

令和元年 11月 20日 高次脳機能障害者自動車再運転支援連絡・研究会
(大内事務局次長・自動車運転支援委員長、夏加 OT:牛久愛和総合病院、他 OT3名)

令和元年 11月 30日 市民公開講座「終活フェス 神栖ココでずっと暮らすために」 in かみす 指導助言 (山倉部長)

令和元年 12月 14日 茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 (大場会長、寺門常任理事)

令和元年 12月 14日 茨城県総合リハビリテーションケア学会評議員会 (大場会長、寺門常任理事)

令和元年 12月 26日 若手リハビリ専門職レベルアップ推進事業 検討委員会 (大場会長)

令和 2年 1月 8日 賀詞交歓会：県内業界団体 (大場会長)

令和 2年 1月 10日 県医師会賀詞交歓会 (小森副会長)

令和 2年 2月 7日 茨城県介護職員腰痛予防モデル施設検討委員会 (大場会長)

令和 2年 2月 1日~2日 日本作業療法士協会 47委員会 (大場会長、山倉副会長)

令和 2年 2月 19日 県民健康づくり表彰式 (小森副会長)

令和 2年 2月 22日 北関東在宅医療推進フォーラム (小森副会長、寺門常任理事)

令和 2年 2月 23日 認知症市民フォーラム in 日立 (大内事務局次長)

令和 2年 3月 3日 若手リハビリ専門職レベルアップ推進事業 検討委員会・作成委員会 メール会議
(大場会長、服部部長)

【委員推薦】

- ・ MTDLP 推薦委員 (日本作業療法士協会) 笥智裕 (国際医療福祉大学)
- ・ 石岡市認知症初期集中支援チーム運営委員会委員 渡邊基子 (介護老人保健施設 ゆうゆう)
- ・ 茨城における小児の発達を支える地域リハビリテーションを考える会 世話人 服部考彰 (茨城福祉医療センター)

- ・特定非営利活動法人 茨城県訪問リハビリテーション協議会理事 細田忠博（ケアセンター元気館）
- ・代議員選挙運営委員（日本作業療法士協会）植田千春（神栖済生会病院）
- ・日立市在宅医療・介護連携推進協議会 坪成美（ひたち医療センター）
- ・茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会実行委員 橋本武志（介護老人保健施設エバーグリーン）
- ・石岡市介護認定審査会委員 原田高德（石岡循環器科脳神経外科病院）
- ・茨城県総合リハビリテーションケア学会理事 大場耕一（総和中央病院）
- ・若手リハビリ専門職レベルアップ推進事業プログラム検討委員 大場耕一（総和中央病院）
- ・若手リハビリ専門職レベルアップ推進事業プログラム作成委員 服部考彰（茨城福祉医療センター）
- ・土浦市地域包括支援センター運営協議会委員 西マナミ（神立病院）
- ・龍ヶ崎市介護認定審査会委員 浅野有子（一般社団法人あつとほーむいなしき）
- ・茨城県地域リハビリテーション普及促進協議会委員 大場耕一（総和中央病院）

4) 財務部：部長 武士 直也

(1) 収入の管理

会費、参加費等の収入発生時、現金・普通貯金出納帳へ記入した。

(2) 支出の管理

出金の発生時、レシート・領収証等証憑の整理・管理及び現金・普通貯金出納帳へ記入した。

源泉所得税の納付を平成会計社と連携し月単位で行った。

平成会計社とともに、毎月帳簿の確認をした。

(3) 会計事務所との連携

出納帳、金種表を利用した月毎の会計情報の連絡・報告。月毎に月次資料の作成をした。

(4) 予算の編成

各部局の報告を受けて、予算の編成をした。

(5) 資産の維持管理に関すること：銀行口座の引き落としをした。

(6) 公益目的保有財産の保持

定期預金（100万円）

5) 厚生部：部長 田口 智規

(1) 会員の福利厚生の管理を担当する。

0件（本年度実績なし）

(2) 慶弔の管理

- ・正会員及び関係者・団体に対し、祝電・弔電・香典・供花等の発送依頼・情報管理を実施。

1件（正会員親族への弔電）

- ・県内養成校に卒業式、入学式の祝電の発送。

卒業式祝電2通（茨城県立医療大学、アール医療福祉専門学校）

入学式祝電2通（茨城県立医療大学、アール医療福祉専門学校）

- ・各団体主催の式典や特定の表彰を受けた個人に対しての祝電発送。

6件（就任3件、受賞・受章1件、式典1件、学術大会1件）

(3) 保険関連の管理を担当した。

- ・研修会等の事業に際し、レクリエーション保険、賠償責任保険等について関係部署、事務員及び保険会社と連携して実施した。

※2019年4月1日～2020年3月31日の保険始期ベース契約件数

年間契約件数：3件

スポット（イベント毎）契約件数：11件

3. 教育・学術局

教育・学術局長：笥 智裕

1) 生涯教育に関すること

(1) 教育・学術局：局長 笥 智裕

①総会時研修Ⅰ「生涯教育制度の概要」 令和元年6月2日(日)9時00分～9時50分 開催

会 場：茨城県立医療大学 大講義室(111教室)

講 師：笥 智裕(茨城県作業療法士会 教育学術局)

参加者数：44名

②総会時研修Ⅱ「茨城県作業療法士会の今後の展望」 令和元年6月2日(日)10時00分～11時00分 開催

会 場：茨城県立医療大学 大講義室(111教室)

講 師：大場 耕一(茨城県作業療法士会 会長)

参加者数：44名

*各病院・施設の作業療法部門責任者クラス(リーダー)への呼びかけを含む、全会員向けの研修として開催。

③特別支援教育に関する人材育成研修会 令和元年8月17日～18日 開催

会 場：愛正会茨城福祉医療センター

講 師：稲田勝江先生(茨城県教育庁学校教育課特別支援教育課)

遠藤貴則先生(茨城大学教育学部附属特別支援学校教頭)

中路順子先生・吉田雅紀先生(日本作業療法士協会)

根本哲廣先生(愛正会茨城福祉医療センター)

根本浩則先生(茨城西南医療センター)

参加者数：26名

④第1回茨城県臨床実習指導者研修会

令和元年9月21日～22日

会 場：茨城県立医療大学

講 師：大島隆一郎先生・佐々木剛先生(茨城県立医療大学)

中村茂美先生・坂本晴美先生(アール医療福祉専門学校)

大場耕一先生(児童発達支援事業所はなもも)

笥智裕(牛久愛和総合病院)

ファシリテーター：皆藤和美先生・六倉悠貴先生(アール医療福祉専門学校)、岡田明日香先生(日立梅が丘病院)、
宇都木淳弘先生(水府病院)、小沼良彦先生(土浦協同病院)、小島正義先生(県南病院)、
片岡信宏先生(水戸済生会総合病院)、

⑤第2回茨城県臨床実習指導者研修会

令和2年3月7日～8日開催予定

※新型コロナウイルスによる影響のため、開催中止。

(2)基礎教育部：部長 若山 修一

①第1回現職者共通研修

令和元年8月18日(日)開催

会場：茨城県立医療大学 112 講義室(中講義室)

「職業倫理」：講師 アール医療福祉専門学校 中村茂美先生・・・参加者 56名

「事例報告と事例研究」：講師 茨城県立医療大学 白石英樹先生・・・参加者 57名

「実践のための作業療法研究」：講師 茨城県立医療大学 藤田好彦先生・・・参加者 53名

「作業療法生涯教育概論」：講師 茨城県作業療法士会会長 大場耕一先生・・・参加者 54名

4 講座参加者延べ人数：220名

②第2回現職者共通研修

令和元年12月22日(日)開催

会場：茨城県立医療大学(中講義室)

「作業療法における協業・後輩育成」：講師 水戸赤十字病院 小森裕一先生・・・参加者 31名

「保健・医療・福祉・地域支援」：講師 神立病院 ケアセンター元気館 細田忠博先生・・・参加者 32名

「日本と世界の作業療法の動向」：講師体調不良により、開催中止。

「作業療法の可能性」：講師 牛久愛和総合病院 寛智裕先生・・・参加者 27名

4 講座参加者延べ人数：90名

(3)専門教育部：部長 唯根 弘 / 生活行為向上マネジメント推進部：部長 藤木 真理子

①第1回現職者選択研修(身体障害領域)：担当副部長 田口功隼

令和元年10月20日(日)開催

会場：茨城県立医療大学 講義棟1階(112教室)

「身体障害領域の基礎知識」・・・参加者 43名：講師 アール医療福祉専門学校 中村茂美先生

「急性期の作業療法」・・・参加者 43名：講師 医療法人光陽会 関東病院 成田雄一先生

「回復期の作業療法」・・・参加者 43名：講師 医療法人博仁会 志村大宮病院 小野瀬剛広先生

「生活期の作業療法」・・・参加者 43名：講師 農協共済中伊豆リハビリテーションセンター
福祉部障害者支援施設さわらび 久野誠先生

4 講座参加者延べ人数：172名

②第2回現職者選択研修(精神障害領域)：担当副部長 大河原崇之

令和元年12月1日(日)開催

会場：茨城県立医療大学 中講義室(135教室)

「精神科作業療法の基礎知識」・・・参加者 17名：講師 茨城県立医療大学 佐々木剛先生

「精神科作業療法の展開方法」・・・参加者 17名：講師 帝京平成大学 水野高昌先生

「精神科作業療法の実践」・・・参加者 17名：講師 久里浜医療センター 小砂哲太郎先生

「精神障害作業療法関連のトピックス (MTDLP について)」・・・参加者 17 名：講師 永井ひたちの森病院
大松史人先生

4 講座参加者延べ人数：68 名

③生活行為向上マネジメント(MTDLP)研修(基礎研修)

(1 回目) 令和元年 6 月 23 日(日)開催

会 場：茨城県立医療大学 福利厚生棟 2 階会議室

「生活行為向上マネジメント総論」：講師 牛久愛和総合病院 藤木真理子

「事例演習、ワークショップ、討議」：ワークショップコーディネーター(寺田悟、東ヶ崎裕、小山貴士)

参加者 32 名

(2 回目) 令和元年 11 月 10 日(日)開催

会 場：茨城県立医療大学 福利厚生棟 2 階会議室

「生活行為向上マネジメント総論」：講師 牛久愛和総合病院 藤木真理子

「事例演習、ワークショップ、討議」 ワorkshopコーディネーター：片岡信宏、宇都木淳弘、東ヶ崎裕

参加者 34 名

④生活行為向上マネジメント導入研修会

(1 回目) 令和元年 8 月 11 日(日)開催

会 場：茨城県立医療大学 福利厚生棟 2 階会議室

「事例紹介、事例検討、ディスカッション」：ワークショップコーディネーター(藤木真理子)

「MTDLP の活用の仕方について」：講師 牛久愛和総合病院 藤木真理子

参加者 5 名(発表者 1 名、聴講者 4 名)

(2 回目) 令和元年 1 月 12 日(日)開催

会 場：茨城県立医療大学 福利厚生棟 2 階会議室

「事例紹介、事例検討、ディスカッション」：ワークショップコーディネーター(藤木真理子)

「MTDLP の活用の仕方について」：講師 牛久愛和総合病院 藤木真理子

参加者 8 名(発表者 3 名、聴講者 5 名)

⑤生活行為向上マネジメント(MTDLP)研修(事例検討)

(1 回目) 令和元年 10 月 27 日(日)開催

会 場：茨城県立健康プラザ 中会議室

「1 事例につき 45 分(発表 10 分、グループディスカッション 20 分、まとめ 15 分)」・・・1 事例

ファシリテーター：磯野 秀樹(特別養護老人ホーム 石名坂聖孝園)、藤木真理子(牛久愛和総合病院)

参加者 4 名(発表者 1 名、聴講者 3 名)

(2 回目) 令和 2 年 3 月 1 日予定

※新型コロナウイルスによる影響のため、開催中止。

2) 主催研修会に関すること

(1) 実践教育部：部長 柘植 哲洋

①中堅者研修会

令和 2 年 3 月 28 日(土)開催予定

会場：茨城県立医療大学実習棟 1 3F 多目的実習室 3 及び 4

テーマ：「スポーツ外傷に対する上肢疾患のリハビリテーション」

講師：工藤 裕二先生（目白大学教授, スポーツ医学博士, PT）

開催予定内容：講演及びテーピングについての技術指導（オンサイトスキルトレーニングの要素を含む）等

※新型コロナウイルスによる影響のため、開催中止。

(2)学会部：部長 宇都木 淳弘

①第 12 回茨城県作業療法学会運営会議

第 1 回 : 2019 年 3 月 27 日 (水) 場所: 筑波大学附属病院

第 2 回 : 2019 年 5 月 23 日 (木) 場所: 筑波大学附属病院

第 3 回 : 2019 年 6 月 20 日 (木) 場所: 筑波大学附属病院

第 4 回 : 2019 年 10 月 17 日 (木) 場所: 筑波大学附属病院

第 5 回 : 2019 年 12 月 19 日 (木) 場所: 筑波大学附属病院

第 6 回 : 2020 年 1 月 16 日 (木) 場所: 筑波大学附属病院

前日準備 : 2020 年 2 月 8 日 (土) 場所: 茨城県立医療大学

②第 12 回茨城県作業療法学会 *作業療法士の他、多職種、一般、学生の参加あり。

2020 年 2 月 9 日 (日) 開催 会 場: 茨城県立医療大学

学 会 長 浅野 祐一 (介護老人保健施設そよかぜ)

実行委員長 小野 恵美 (筑波大学附属病院)

学会テーマ: 「やってみたい、やってほしい、やってみよう」 ～くらしを紡ぐ生活行為～

○基調講演

題 名 「地域包括ケアシステムに貢献する MTDLP」

講 師 土井 勝幸 (医療法人社団東北福祉会 介護老人保健施設せんだんの丘 施設長)

○ランチョンセミナー

テーマ 「各分野での活動と参加を高めるための取り組み」

講 師 西 マナミ (神立病院)

浅野 有子 (デイサービス太陽と鳩たち)

大島隆一郎 (茨城県立医療大学 保健医療学部 作業療法学科)

松本 純一 (ハートケアセンターひたちなか)

○市民公開講座

テーマ 「子どもとのコミュニケーション ～大切にしたい考え方とノウハウ～」

講 師 岩崎 淳也 (国際医療福祉大学 講師 言語聴覚士)

田中 亮 (土浦協同病院 作業療法士)

○教育講演

題 名 「事例から学ぶ、MTDLP 実践・活用ポイントと作業療法士の課題」

講 師 谷川 真澄 (有限会社なるざ 代表取締役兼作業療法士)

○当事者展、企業協力等

・ 自助具アクティビティ展 (自助具: 3 アクティビティ: 6) ・ ユーザー支援報告 (全 9 医療圏)

・ 出展：株式会社幸和義肢研究所、株式会社 IFG、茨城トヨペット株式会社、(計 3 社)

・ 広告掲載、協賛企業

株式会社幸和義肢研究所、茨城トヨペット株式会社、株式会社シーティング工房 8、株式会社ロングライフ
TBファクトリー、筑波学園病院、筑波大学附属病院 パナソニックエイジフリーショップつくば (計 8 社)

・ CM：株式会社幸和義肢研究、株式会社 IFG、パナソニックエイジフリーショップつくば 計 3 社)

○一般演題発表

演題発表数:76 演題 口述：33 演題 ポスター：43 演題

○参加者数

正会員：191 名、非会員：11 名、一般・学生：30 名、市民公開講座：192 名 総合計：424 名

3) 共催・後援研修会に関する事

(1) 県士会共催・後援の研修会

共催・後援研修回数合計 67 回 *前年比 85.9%の開催率

参加人数合計 866 名 (参加者名簿提出分のみ) *前年比 74.1%の参加率

(2) 医療圏研修会

・水戸医療圏 (延べ人数 57 名：参加者名簿提出分のみ)

共催・・・2 研修会・勉強会

後援・・・0 研修会・勉強会

・取手・龍ヶ崎医療圏

なし

・常陸太田・ひたちなか医療圏

なし

・日立医療圏

なし

・つくば医療圏

なし

・古河・坂東医療圏

なし

・鹿行医療圏

なし

・筑西・下妻医療圏

なし

・土浦医療圏

なし

4) 会員に学術向上に関する事

茨城県作業療法士会機関誌 16 号 (2020. Vol. 16) 令和 2 年 2 月に発刊

5) 医学中央雑誌への掲載

茨城県作業療法士会機関誌 16号(2020. Vol.16)が医学中央雑誌への継続掲載依頼済み

4. 地域貢献局

地域貢献局長：細田 忠博

1) 作業療法フェスタ運営部：部長 吉田 亮二

(1) 北茨城介護予防フェスタ (非実施)

主催者都合により開催取り止め

(2) OTフェスタ in 茨城ロボッツ

令和元年12月28日(土) 12:00~19:00

(3) 茨城県「介護の日」パネル展示事業

令和元年10月25日(金)~11月12日(火)

(4) 第8回水戸まちなかフェスティバル

令和元年9月16日(月) 10:00~16:00

(5) OTフェスタ in つくばレ×runTOMO いばらき (非実施)

令和元年10月26日(土) 10:00~16:00

悪天候により、全イベントブース中止

2) 市民公開講座運営部：部長 小坪 仁美

(1) 令和元年度市民公開講座：参加者 71名

『肢体不自由児の身近動作の支援』

令和元年12月8日(日) 14:00~16:00

会場：土浦市亀城プラザ

講師：重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎 岸本光夫 先生

3) 制度対策部：部長 小田部 直子

(1) 医療保険および介護保険関連の情報発信

⇒ 協会HP「会員ポータルサイト」への掲載に変更となり、本会ホームページへの掲載は終了

(2) 保険情報関連の相談窓口の運営

・相談件数 0件

(3) 福祉用具相談支援システムの運営 (OT協会委託事業)

・相談件数 1件 内容：ナースコールに関連する自助具導入について

(4) IT機器レンタル事業研修会の開催

・日時：2019年7月6日(土)~7月7日(日)

・会場：アール医療福祉専門学校

・参加人数：91名 (茨城県内 OT 57名 他都道府県 OT 32名 他職種 2名)

4) イキイキ地域づくり事業部：部長 新堀 拓

(1) 令和元年度地域ケア会議人材育成研修

研修会名：令和元年度地域ケア会議人材育成研修会

日時：令和2年2月2日（日）10時～16時40分

場所：アール医療福祉専門学校

参加者：11名

(2) 茨城県リハビリテーション専門職協会（IRPA）との連絡調整や関連会議への出席

→地域担当者選定等の直接の依頼が無かったため、本年度の実施はなし。

(3) 地域支援事業に関連した事業への対応

→直接、イキイキ地域づくり事業部に地域支援事業に関連した事業への依頼が無かったために本年度の実施はなし。

(4) 令和元年度「聞きたい知りたい」出前講座

→出前講座の実施に至る依頼がなく、本年度の実施はなし。

(5) 障害福祉領域のOTのネットワーク構築

障害福祉領域の中で、特に就労支援については、今後OTの活躍が期待される。しかし、県内で就労支援に携わるOT士会員は非常に少なく、実態を把握しきれていない。市民公開講座を通して、ネットワークの構築を進めていく。

→今後もネットワークの構築を進めていく。

5) コミュニティ・ディレクター統括部：部長 服部 考彰、副部長 田中 亮

(1) 各医療圏活動の企画・運営（ユーザー支援・研修会など）を統括する。

①水戸医療圏

【CD：五位 渕 孝・田中 苑代・葛西 亜美（立川記念病院）、寺崎 有紀（水戸済生会）、中村 瞳（茨城福祉医療センター）】

・水戸医療圏研修会 2020年1月19日 参加者 41名

・ユーザー支援事業

高校生への障害者体験 2019年8月4日 参加者 24名（ユーザー15名、スタッフ9名）

2020年3月15日 感染予防のため中止

第7回水戸まちなかフェスティバル OTブース出展 2019年9月16日 参加スタッフ13名

重症心身障害者のおまつり参加 2019年11月10日 OTスタッフ7名参加

ハロウィンパーティー（肢体不自由児・重症心身障害児・発達障がい児対象）

2019年10月19日 参加者 43名（ユーザー27名、スタッフ16名）

②常陸太田・ひたちなか医療圏

【CD：武田 要子・鹿島 尚晃・大城 竜邦（日製ひたちなか総合病院）、茅野 啓介・新堀 魁（志村大宮病院）、大曾 根 和幸（慶和病院）、滝澤 健（恵愛小林クリニック）】

・医療圏代表者会議

2019年5月24日 参加者 13名

・医療圏交流会 2020年2月21日 参加者 23名

・医療圏研修会

2019年7月19日

- ・ユーザー支援事業

<認知症作業療法と地域の会>

- ・高校生に対しての授業（認知症について）

2019年12月11日 参加者31名（高校生26名、OT4名、他1名）

<作業療法士についての啓発活動>

2019年12月8日 TA・MA・RI・BA 祭り出展（ひたちなか市主催）

OTスタッフ23名、当日集客数 約80名

③日立医療圏

【CD：勝山 英恵（多賀総合病院）、坪 成美（ひたち医療センター）、浦上 明日香（日立梅ヶ丘病院）】

- ・医療圏交流会 2019年5月24日 参加者15名

- ・医療圏研修会 2020年1月15日 参加者19名

- ・ユーザー支援事業

第13回わいわいパーベキュー大会 2019年10月6日 参加者51名

④鹿行医療圏

【CD：中村 信也（鹿島病院）、関 優治（白十字総合病院）、齊藤 唯子（通所リハにこここ）】

- ・医療圏交流会 平成30年6月8日

- ・ユーザー支援事業

運営会議（第1回） 2019年7月19日

運営会議（第2回） 2019年9月13日

運営会議（第3回） 2019年11月22日

第14回フレンドボウリング大会 2019年11月30日

反省会 2020年1月24日

⑤つくば医療圏

【CD：浅野 祐一（筑波学園病院）、成島 慈典・相原 佑樹（筑波記念病院）、小野 恵美（筑波大学附属病院）】

- ・新人歓迎会兼交流会 2019年6月21日 参加者30名

- ・ユーザー支援事業

陶芸教室 2019年11月30日 参加者12名（ユーザー9名、OT3名）

パン教室 2019年9月28日 参加者32名（ユーザー19名、OT7名、他6名）

- ・医療圏研修

つくば地域リハ・セミナー（つくば地域リハステーション勉強会）

⑥土浦医療圏

【CD：飯塚 卓暢（シルバーケア土浦）、津島 弘宜（神立病院）】

- ・医療圏交流会 2019年6月14日 参加者30名

- ・医療圏研修会 テーマ：

病院紹介とIT機器レンタル事業の体験について 2019年11月15日 参加者34名

- ・ユーザー支援事業

エンジョイ！チャレンジ外出2019 2019年10月20日 参加者28名

エンジョイ！チャレンジ調理 2020年3月15日 感染予防のため中止

⑦取手・竜ヶ崎医療圏

【CD：片根 大輔・高尾 和弥（県立医療大附属病院）、中村 美歌（茨城リハビリテーション病院）】

・ユーザー支援事業

脊髄損傷者のスポーツ吹き矢（月2回実施）

脊髄損傷者の外出支援 2019年5月25日 参加者17名（ユーザー14名、スタッフ3名）

⑧筑西・下妻医療圏

【CD：阿部 歩美（城西病院）、川口 淳一（結城病院）】

・医療圏会議 2019年9月30日 参加者5名、2019年10月18日 参加者6名、2019年11月1日 参加者6名
2019年11月12日 参加者6名、2019年11月28日 参加者6名、2019年12月4日 参加者6名
2019年12月9日 参加者6名

・ユーザー支援事業 認知症に関する市民公開講座 2019年12月14日 参加者10名

⑨古河・坂東医療圏

【CD：鈴木 徹（ホスピタル坂東）、根本 祐司（西南医療センター病院）】

・医療圏OT交流会 2019年8月21日 参加者27名

・ユーザー支援事業

第3回わくわく車いすバスケットボール体験会

2020年1月19日 参加者45名（ユーザー24名、OTスタッフ21名）

作業療法士と話そう

2020年2月24日 感染予防のため中止

5. 広報局

広報局長：山倉 敏之

1) 啓発部：部長 小山 貴士

(1)OT啓発用DVDの配布

茨城県リハビリテーション専門職協会主催の高校生施設見学会にてOT啓発用DVDの配布を行った。

(2)OT啓発用パンフレットの編集・発行・管理（高校生見学会、進路指導担当者会議にて配布）

県士会作成のリーフレット、パンフレットを準備し、各関連事業にて配布を行った。

(3)作業療法学会での啓発活動（DVD放映、ポスター等）

学会当日、日本作業療法士協会のパンフレットを配布した。

(4)小中校生向け認知症サポーター養成講座の企画・開催

認知症支援推進委員の活動にて実施された。

(5)進路指導担当者会議の開催（教育学術局との協働事業）

令和2年1月14日（火）に高等学校進路指導担当者向けに進路説明会を茨城県立医療大学にて実施した。計16名

（県立15校、私立1校）の参加者に対し、作業療法士の現状と将来像、県内養成校の学科長より教員の立場で育てたい作業療法士像、生活行為向上マネジメントについて紹介を行った。また、配布物として、県士会作成のリーフレット、パンフレットを配布した。

(6)中高生・若年資格保持者・県士会未加入者に対し、入会促進を図る

上記事業において、中高生に対しリーフレット・パンフレットの配布を行った。

2) 広報編集部：部長 土橋 梓

(1) ニュースペーパー、メールマガジンの編集・発行・管理を行なった。

今年度定期メールマガジンとして4回（令和元年8月、10月、12月、令和2年3月）配信した。

また、臨時で事務連絡、研修会・勉強会情報、新型コロナウイルス対策情報等を10回（令和元年11月、12月、令和2年1月、2月(2回)、3月(5回)）配信した。

令和2年3月にニュースペーパーである広報誌「OT いばらき」を発行し、関連団体（行政、医療・保健・福祉の各団体、他県士会等）304団体へ三部送付した。

3) 宣伝部：部長 関 智之

(1) ホームページ管理・運営（部・局間と協働事業）

発信する情報の掲載・整理と改善、ホームページのカスタマイズを行った。

<http://ibaraki-ot.org/>

研修会・勉強会情報、他団体情報、事務局連絡等を更新し、会員への情報提供を引き続き行なった。求人情報に関しては、病院・施設・企業側から直接登録できるように整備し、順次登録を行っていただいた。

会員以外に対しては、県民への情報提供のリンクページを設け、作業療法の紹介や啓発ビデオを掲載する等の広報活動を引き続き行なった。

本会主催の「第12回茨城県作業療法学会」のリンクページを設けた。

本会主催の「第13回茨城県作業療法学会」のリンクページを設けた。

本会の取り組みである「認知症AR/VR」のリンクページを設けた。

茨城県リハビリテーション専門職協会「PT・OT・ST 高校生見学会」のリンクページを設けた。

会員だけが閲覧できる「会員専用ページ」を設け、県内に所属するOTの病院・施設を掲載した。

(2) Facebook・Twitterの管理・運営

(3) 会員向けの情報発信に際し、メーリングリストからメールマガジンへの移行が完了（部間で協働）。

メールマガジンとともに、メーリングリストも現行通り使用し、情報発信を行った。

内容としては、研修会・勉強会情報、本会運営情報、茨城県・他団体からの通知案内、診療介護報酬改定情報、日本作業療法士協会からの情報等を随時配信した。

(4) 市民公開講座の告知・広報を行う（地域貢献局との協働事業）。

例年通り、本会ホームページ・紙媒体にて市民公開講座の告知・広報を実施した。

(5) OT フェスタの告知・広報を行う（地域貢献局との協働事業）。

(6) 医療圏研修会の告知・広報を行う（地域貢献局との協働事業）。

例年通り、本会ホームページ・紙媒体にて研修会の告知・広報を実施した。

(7) 茨城県作業療法学会のポスター、チラシの作成・告知・広報を行う（教育・学術局との協働事業）。

例年通り、本会ホームページ・紙媒体にて学会の告知・広報を実施した。

(8) 認知症サポーター養成講座の告知、広報を行う（啓発部および地域貢献局との協働事業）。

啓発部のみで対応可能だったため、宣伝部としては告知・広報を行わず。

(9) 一般の方や関係機関に向け、県士会および作業療法（士）を案内するリーフレットの編集・発行・管理を行う。

作業療法（士）を案内・啓発するパンフレット、リーフレットを発行。教育学術局・地域貢献局・広報局の各事業

において配布を行なった。

(10) 関係機関への協賛広告の編集・発行・管理を行う。

関係機関より依頼があった際、適宜本会ホームページにて告知・広報・管理を行った。

(11) 関係団体・協力団体のリンクをホームページにて掲載・告知・管理を行う。

関係団体・協力団体より依頼があった際、適宜本会ホームページにて告知・広報・管理を行った。

(12) 日本作業療法士協会との協力し、会員被災状況の確認を模擬的に実施。(災害対策委員会との協働事業)

日本作業療法士協会と協力し、模擬的に本会会員の被災状況確認をホームページ・メールマガジンにて実施、協会との情報共有とともに現状把握に努めた。

6. 法人対策委員会

委員長：荒井 裕久

1) 法人対策委員会を開催。

(1) 日時：令和元年10月4日(金) 18:30~20:30

場所：茨城県作業療法士会事務所

出席：小森、大内、武士、田口、荒井

内容：平成30年度の備え置き書類の確認や不足書類についての確認を実施。茨城県からの立ち入り検査に対し、事業報告に沿って関連資料の確認を実施。

(2) 日時：令和元年10月24日(木) 18:30~20:30

場所：茨城県作業療法士会事務所

出席：小森、大内、武士、田口、荒井

内容：茨城県からの立入検査に向けた資料の最終確認を実施。

2) 茨城県の立入検査への対応

日時：令和元年10月29日(火) 9:30~16:20

場所：茨城県作業療法士会事務所

参加者：大場、小森、山倉、笥、大内、武士、荒井 (電話待機：監事 小泉)

内容：茨城県保健福祉部医療対策課職員(2名)による対入り検査があり、事業内容についての報告を実施。

3) 随時、各担当者へ据え置き書類の提出依頼、事務所への保管資料の整理を実施。

7. 災害対策委員会

委員長：寺門 貴

1) 各種会議等へ参加した。

(1) 茨城 JRAT 事務局会議

第15回：平成31年4月23日

第20回：令和元年10月22日

第16回：令和元年6月6日

第21回：令和元年11月15日

第17回：令和元年7月10日

第22回：令和元年12月4日

第18回：令和元年8月6日

第23回：令和2年1月29日

第19回：令和元年9月25日

(2) 茨城災害リハビリテーション支援協議会(仮称)設立準備会

第1回：令和元年7月16日

(3)茨城県災害リハビリテーション支援協議会 第1回理事会

令和元年12月21日

(4)平成27年9月関東・東北豪雨における災害リハビリテーション支援活動報告会

令和元年12月21日

(5)茨城県災害リハビリテーション支援協議会 発足会

令和元年12月21日

2)日本作業療法士協会 2019年度大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練

実施日：令和元年9月25日

8. 障害と自動車運転支援委員会

委員長：大内 康雄

事業計画1)～4)における事業実績および5)その他の活動について記載した。

1)自動車運転の支援ができる作業療法士の養成。研修会の開催を検討。場所・日時の詳細は未定。

→主催となる研修は開催されなかったが、茨城県高次脳機能障害支援センター主催の研修会へ参加した。※2)

2)行政、公安委員会、自動車教習所、医療従事者等と連携し、自動車運転支援における作業療法士の役割を構築。

→●茨城県高次脳機能障害支援センター訪問【全2回】

第1回訪問2019.10.3(木)

(訪問者：大内 センター職員：小原昌之センター長、中嶋拓人係長、稲川賢主事、山中俊広技師(生活支援員))

第2回訪問2020.1.31(金)

(訪問者：大内 センター職員：小原センター長、山中俊広技師(生活支援員))

→●高次脳機能障害者自動車再運転支援連絡・研究会への参加【全2回】

第1回高次脳機能障害者自動車再運転支援連絡・研究会2019.11.20(水) ※キックオフ

(参加者：大内、夏加、圓岡、山田)

第2回高次脳機能障害者自動車再運転支援連絡・研究会2020.1.15(水)

(参加者：山田)

~~第3回高次脳機能障害者自動車再運転支援連絡・研究会2020.3.16(月)~~

~~(参加予定者：大内、夏加、山田)~~ 新型コロナウイルスの流行により中止

→●茨城県障害福祉課・高次脳機能障害支援センター主催会議への参加【全1回】

高次脳機能障害者の自動車再運転支援に係るミーティング2019.5.31(金)

(参加者：大場会長) ※書面により当委員会への報告あり。

3)自動車運転支援を行なうことができる施設の把握。

→●県内の状況把握強化に向けた委員の増員 (前委員)1施設5名→(現委員)8施設9名へ

→●委員内の情報共有のための会議開催

第1回障害と自動車運転支援委員会会議2019.7.5(金)

(参加者：大内、緑川、照沼、嶋田、山田、夏加、アドバイザー：小森副会長)

~~第2回障害と自動車運転支援委員会会議2020.3.23(月)~~ 新型コロナウイルスの流行により中止

→●高次脳機能障害者自動車再運転支援連絡・研究会への参加(DSのある施設の県士会員との情報交換)

4) 日本作業療法士協会との連携。

→●運転支援に関する実態調査（アンケート）への協力 2019.10

→●運転と作業療法委員会都道府県士会協力者会議への参加 2019.12.7（土）於：東京工科大学
（参加者：嶋田、圓岡）

5) その他

→●認知症支援推進委員会との連携（主に VR 事業での連携）

ミーティング 2019.9.3（火）

（参加者：山倉認知症支援推進委員長、大内）

※現在、各委員より意見を集約中。次年度は全体ミーティングを開催予定。

9. 認知症支援推進委員会

委員長：山倉 敏之

1) 日本作業療法士協会 認知症作業療法推進委員会への参加

令和元年 11 月 9～10 日の 2 日間で、認知症作業療法推進委員会（日本作業療法士協会 認知症の人の生活支援推進委員会主管）に委員として、当士会からは島田康司（池田病院）と小山貴士（涼風苑）が参加。認知症作業療法アップデート研修の研修内容の更新、日本作業療法士協会と都道府県士会との相互交流による情報周知・交換・共有を行なった。

2) 認知症作業療法アップデート研修の開催

令和 2 年 2 月 11 日に第 3 回認知症支援アップデート研修会（認知症作業療法アップデート研修包含）を茨城県立医療大学で開催。他職種を含め 26 名（OT：23 名、その他：PT1 名、Ns1 名、CW1 名）が参加した。

3) 認知症サポーター養成活動への支援の促進

認知症支援推進委員が認知症サポーター養成講座の講師を担当した。また認知症サポーター養成講座および認知症サポーターフォローアップ研修に講師を派遣して、認知症 AR/VR 体験を実施した。

4) 各地域における認知症関係事業（認知症初期集中支援チームや認知症カフェ、認知症のひとと家族の会、市町村独自の事業など）への会員の関与状況の把握

いずれアンケートを実施したいと考えているが、今年度は情報収集に留まっており、形になっていないため、本年度の実施はなし。

5) 認知症のひとと家族の会 茨城県支部への支援

(1) 令和元年 10 月 27 日つくば国際会議場にて認知症のひとと家族の会「第 35 回全国研修会 in 茨城」に山倉が来賓参加。認知症支援推進委員 2 名も協力参加した。

(2) 認知症のひとと家族の会 茨城支部の賛助会員を継続。

6) 認知症研修体制の構築（人材育成研修の枠組み構築や地区委員（仮称）の配置など）

今年度は情報収集に留まっており、形になっていないため、本年度の実施はなし。

7) 認知症に対する作業療法についての普及・啓発（認知症 AR/VR 体験会の出張開催等）

平成 29 年度認知力アッププログラム教材作モデル事業（茨城県委託事業）にて、認知症予防や認知力アップの重要性を啓発する目的で認知症 VR/AR プログラムを制作した。令和元年度においても、関係各所からの依頼に対し、講師を派遣し、機材を使用して認知症 AR/VR 体験会を以下のように開催した。

令和元年 10 月 23 日 龍ヶ崎市市長定例会見内にて認知症 AR/VR のプレゼン実施（龍ヶ崎市、龍ヶ崎市役所）

令和元年 11 月 8 日 龍ヶ崎市小学生対象認知症サポーター養成講座にて認知症 AR/VR 体験を実施

(龍ヶ崎市、龍ヶ崎市立大宮小学校)

令和元年 11 月 10 日 ひたちなか市健康・絆・終活フェス 企業展示ブースにて認知症 AR/VR 体験を実施

(ひたちなか市、ワークプラザ勝田)

令和元年 11 月 30 日 神栖市終活フェス展示ブースにて認知症 AR/VR 体験を実施 (神栖市、かみす防災アリーナ)

令和 2 年 1 月 26 日 常陸大宮市北富田地区にて認知症 AR/VR 体験を実施 (常陸大宮市、常陸大宮市北富田集会所)

令和 2 年 1 月 30 日 池田病院 認知症疾患医療センター 連携協議会にて認知症 AR/VR 体験を実施

(龍ヶ崎市、龍ヶ崎済生会病院)

令和 2 年 2 月 11 日 第 3 回認知症支援アップデート研修会にて認知症 AR/VR 体験を実施 (阿見町、茨城県立医療大学)

令和 2 年 2 月 14 日 宮本病院 認知症疾患医療センター 連携協議会にて認知症 AR/VR 体験を実施 (稲敷市、宮本病院)

10. 精神障害領域対策委員会

委員長：角田 和之

1) 県の精神障害者地域移行推進に係る人材育成検討会との連携 (県主催の研修会講師の推薦含む)

今年度は県主催の研修会への推薦依頼が無かったため、実施せず。

2) 研修会 (年 1 回開催予定、対象は他職種、一般の方を含む) を通し各分野 (医療・福祉・保健) ・他職種との連携を強化

研修会を 2020 年 2 月 29 日 (土) に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を踏まえ、会員また医療人としての健康と安全に配慮して中止することになったため、実施せず。

3) 災害等に備えた精神障害領域の作業療法士・施設間の連絡体制の推進

県内の精神障害領域の作業療法士に対して、会員には本会の連絡用メールアドレスへの登録が済んでいるかどうかの確認を実施。未登録施設には登録を行うよう啓発を行った。

4) 精神障害領域の県士会未加入者への啓発を継続

県内の精神障害領域の作業療法士に対して、本会未加入者には入会を促す啓発を行った。

11. がんの作業療法対策委員会

委員長：田口 智規

1) パンフレットの作成・配布

平成 31 年度企画提案型がん対策推進事業として、がんのリハビリテーションについてのパンフレットを作成・配布。

タイトル：『知っておきたいがんのリハビリテーション～生活を支える作業療法～』

配布先：県内 172 施設 (地域包括支援センター、教育委員会、広域支援センター、地域リハビリテーション支援センター、がん診療連携拠点病院、保健所、養成校 等)

配布部数：10 部/施設

12. 選挙管理委員会

委員長：植田 千春

令和元年6月2日に理事の役員任期が満了となるにあたり、選挙管理規程において役員の改選を実施するため、平成31年3月（前年度）に改選の公示をし、期限までに理事25名の立候補を受理した。理事の候補者が定数を満たしていたため、定款施行細則第35条により、無投票当選となった。（令和元年6月2日（日）の定時社員総会にて承認された。）

【当選者氏名】

理事（25名）

大場 耕一（総和中央病院）	小山 貴士（いちほら病院）
吉田 亮二（高萩それいゆ病院）	若山 修一（茨城県立医療大学）
土橋 梓（筑波記念病院）	小森 裕一（水戸赤十字病院）
荒井 裕久（水戸赤十字病院）	唯根 弘（茨城県立医療大学）
藤木 真理子（牛久愛和総合病院）	大内 康雄（村立東海病院）
笥 智裕（牛久愛和総合病院）	山倉 敏之（筑波記念病院）
田口 智規（老健 ひまわり水戸）	武士 直也（水戸協同病院）
柘植 哲洋（つくばセントラル病院）	磯 智和（つくばセントラル病院）
宇都木 淳弘（水府病院）	田中 亮（土浦協同病院）
細田 忠博（神立病院）	小田部 直子（神立病院）
小坪 仁美（フロイデ工房しろさと）	関 智之（総和中央病院）
寺門 貴（志村大宮病院）	服部 考彰（茨城福祉医療センター）
新堀 拓（通所リハビリステーションにここ）	

第2号議案 令和元年度収支決算書・監事意見書報告の件

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,493,902	4,410,566	83,336
未収入金	5,233	-	5,233
流動資産合計	4,499,135	4,410,566	88,569
2. 固定資産			
(1)特定資産			
公益目的事業用資産	1,000,000	1,000,000	-
特定資産合計	1,000,000	1,000,000	-
(2)その他固定資産			
有形固定資産	57,024	95,040	△ 38,016
無形固定資産	126,360	121,308	5,052
その他固定資産合計	183,384	216,348	△ 32,964
固定資産合計	1,183,384	1,216,348	△ 32,964
資産合計	5,682,519	5,626,914	55,605
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	745,545	459,134	286,411
預り金	18,434	22,436	△ 4,002
前受収益	34,000	10,000	24,000
流動負債合計	797,979	491,570	306,409
負債合計	797,979	491,570	306,409
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	-	-	-
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	-	-	-
2. 一般正味財産	4,884,540	5,135,344	△ 250,804
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	-
正味財産合計	4,884,540	5,135,344	△ 250,804
負債及び正味財産合計	5,682,519	5,626,914	55,605

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	-	-	-
受取会費・入会金			
受取会費・入会金	9,188,000	8,964,000	224,000
事業収益			
研修収入	1,537,500	1,666,000	△ 128,500
広告料収入	83,760	107,200	△ 23,440
その他事業収入	550	96,124	△ 95,574
受取寄附金			
寄附金収入	-	-	-
雑収益			
受取利息	151	156	△ 5
経常収益計	10,809,961	10,833,480	△ 23,519
(2) 経常費用			
事業費			
会場費	148,386	144,761	3,625
謝金	743,500	683,284	60,216
旅費交通費	819,309	1,091,276	△ 271,967
印刷製本費	1,430,261	1,178,936	251,325
会議費	354,949	465,665	△ 110,716
交際費	60,296	45,880	14,416
保険料	41,476	35,917	5,559
通信費	272,664	194,836	77,828
消耗品費	397,711	427,475	△ 29,764
運営手数料	95,654	90,211	5,443
事務用品費	107,897	169,728	△ 61,831
広告宣伝費	54,400	108,000	△ 53,600
支払手数料	46,138	24,836	21,302
減価償却費	32,964	144,228	△ 111,264

雑費	2,360	-	2,360
賃借料	437,185	394,142	43,043
委託費	89,443	124,999	△ 35,556
役員報酬	252,906	189,663	63,244
給料手当	547,854	535,913	11,941
法定福利費	5,510	5,995	△ 485
ホームページ管理費	257,036	263,688	△ 6,652
管理費			
交際費	442,568	114,699	327,869
寄附金	70,000	159,000	△ 89,000
役員報酬	200,953	240,877	△ 39,924
給料手当	374,144	357,275	16,869
法定福利費	3,673	3,996	△ 323
旅費交通費	493,416	487,248	6,168
通信費	414,916	637,157	△ 222,241
事務用品費	30,432	47,872	△ 17,440
保険料	96,290	103,295	△ 7,005
委託費	25,228	35,256	△ 10,028
賃借料	123,309	111,168	12,141
支払手数料	1,804,245	1,755,877	48,368
諸会費	400,100	386,300	13,800
会議費	21,736	16,522	5,214
租税公課	1,150	1,150	-
ホームページ管理費	72,497	74,374	△ 1,877
印刷製本費	617,259	658,831	△ 41,572
経常費用計	11,389,815	11,510,330	△ 120,515
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 579,854	△ 676,850	96,996
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	△ 579,854	△ 676,850	96,996
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収入	329,050	-	329,050
経常外収益計	329,050	-	329,050
(2) 経常外費用			
雑損失	-	-	-
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	329,050	-	329,050

税引前当期一般正味財産増減額	△ 250,804	△ 676,850	426,046
法人税等	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 250,804	△ 676,850	426,046
一般正味財産期首残高	5,135,344	5,812,194	△ 676,850
一般正味財産期末残高	4,884,540	5,135,344	△ 250,804
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
III 正味財産期末残高	4,884,540	5,135,344	△ 250,804

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	現金	手元保管	運転資金として	1,443,879
	預金	普通預金 常陽銀行水戸支店	運転資金として	3,050,023
未収入金	未収還付税金	茨城県	事務員年末調整還付未済額	5,233
流動資産合計				4,499,135
2. 固定資産				
特定資産	公益目的 事業用資産	定期預金 常陽銀行水戸支店	公益目的保有財産であり、運用益を 公益目的事業の財源として使用して いる。	1,000,000
その他固定 資産	有形固定資 産	VR コンテンツ機材	公益目的保有財産であり、公益目的 事業の用に供している。	57,024
	無形固定資 産	VR プログラム	公益目的保有財産であり、公益目的 事業の用に供している。	126,360
固定資産合計				1,183,384
資産合計				5,682,519
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	交通費	役員等	立替交通費	23,330
	事務用品費 ・消耗品費	役員等	立替事務用品費・消耗品費	94,652
	支払手数料	JWEBOFFICE	ネットバンク手数料	1,620
	支払手数料	常陽銀行	I-NET 代金回収サービス手数料	2,365
	支払手数料	令和会計社	委託報酬	165,000
	通信費	日本郵便	後納郵便	42,578
	役員報酬	役員等	理事会	416,000
預り金	源泉所得税	役員・講師	給与・報酬に係る源泉所得税	18,434
前受収益	前受会費	会員	令和2年度会費前受額	34,000
流動負債合計				797,979
2. 固定負債				0
負債合計				797,979
正味財産				4,884,540

監 事 意 見 書

公益社団法人 茨城県作業療法士会
会 長 大場 耕一 殿

意見書作成日 令和 2年 4月 29日
公益社団法人 茨城県作業療法士会

監 事 小泉 香樹 

監 事 西 マナミ 

- I 私達は、(令和元年度)平成 31年 4月 1日から令和 2年 3月 31日までの会計年度の本会の財務諸表、すなわち、財産目録、収支計算書、貸借対照表を監査し、それを基礎として、本会の財務及び理事の業務執行の状況を監査いたしました。
- II 財務諸表の監査にあたっては、私たちが必要と認めた監査手続きを実施いたしました。
- III 監査の結果、私達は、上記財務諸表が適正に作成されており、本会の令和 2年 3月 31日現在の財政状態及び同日を以って終了する会計年度の収支状況を適正に表示しているものと認めます。
また、本会の財務と理事の業務執行の状況は、共に良好且つ適性であると認めます。

上記の通り、監事の意見を報告いたします。

以上

第3号議案 令和2年度(2020年度)事業計画(案)の件

会長：大場 耕一

1. 主要目標

1) 茨城型地域包括ケアシステム構築への支援

引き続き2025年に完成年度を迎える地域包括ケアシステムに対して、専門職団体としてしっかりとその意義や重要性を意識したうえで、このシステムが将来にわたり継続できる施策となるよう、医療圏や市町村単位での連携構築・強化を図ってまいります。なかでも会員への啓発活動や研修等への積極的な参画を図ってまいります。

2) 公益社団法人としての組織力強化

公益法人としての核心部分は、常に県民に広く公益性の高い事業展開を果たすことにあります。その達成のためには、組織自体が泰然としていかなければなりません。さらに達成のためには、「組織力の強化」＝「組織率の向上」を果たすことが必須となります。この課題は本会に限定した命題ではなく、中央協会とも連動して取り組むものと考えております。

3) 研修の推進、県士会学術集会およびブロック合同学会の継続・発展

中央協会と連動した各種の研修会も、その仕組みの変革期に入っております。より高い質を担保しながら、受講率の向上を目指していくためには、本会もしっかりとその理念に沿って同調していくが必要になってきます。さらに本会独自の研修会はもとより、学術集会の運営も引き続き、最も重要な事業と位置づけ、継続してまいります。

4) 行政連携型事業の強化

認知症施策、がんに関するリハビリテーション、障害と自動車運転、精神保健領域施策、発達障害児・者に対応した事業展開のための組織化に向けて取り組んでまいりました。組織化を果たしたうえで、いよいよ今年度以降、実践の時期となってまいります。作業療法の根幹をなす各事業を、しっかりと県内に根付かせられるよう邁進してまいります。

5) 広報・啓発に向けた基盤整備

広報戦略としてのメールマガジンやホームページ等の更なる充実を図ってまいります。県民、そして会員各位からのご要望に迅速に対応できる体制も引き続き強化してまいります。

6) 災害支援への組織力強化

茨城県内での活動主体となる茨城JRATが正式に発足しました。今後平時の事業実施。さらに有事の際の迅速な支援体制の構築が進められようとしています。本会も組織の一員として、しっかりと後方支援が果たせるべく、活動してまいります。

7) 女性会員の事業参画促進に向けた取り組み

県学会や一部の市民公開講座において、託児室併設を継続してまいりました。この実績も、徐々に定着してきており、多くの研修会で複数名の託児利用がなされております。今年度も引き続き、すべての研修会等での併設を目指し、女性会員のスキルアップの場を提供してまいります。

2. 事務局

事務局長：小森 裕一

1) 総務部

(1) 総会、監事会および理事会における実務を担当する。(日程調整、議事録作成 等)

①総会

令和2年6月7日(日) 茨城県立医療大学

②監事会(会計監査)

令和2年4月29日(水) 茨城県作業療法士会事務所

③理事会

- ・第1回：令和2年4月29日(水) 茨城県作業療法士会事務所
- ・第2回：令和2年6月7日(日) 茨城県立医療大学
- ・第3回：令和3年2月28日(日) 茨城県作業療法士会事務所

<常任理事会>

- ・第1回：令和2年7月5日(日) 茨城県作業療法士会事務所
- ・第2回：令和2年9月6日(日) 茨城県作業療法士会事務所
- ・第3回：令和2年11月8日(日) 茨城県作業療法士会事務所
- ・第4回：令和3年1月17日(日) 茨城県作業療法士会事務所

(2) 「公益社団法人」の管理・運営及び業務全般の統括をする。

(3) 他職種関連団体、県・各行政区等との連絡調整を担当する。

(4) 地域担当者との調整をコミュニティ・ディレクター等との連携をもって調整する。

2) 庶務部

(1) 会員の入退会等会員管理に関すること：入会案内文作成・送付。申込み用紙管理。会員名簿管理。

(2) 会費滞納に関すること：未納者リスト作成。電話や督促状による督促および除籍注意喚起。

(3) 関係団体名簿に関すること：関係団体名簿管理。

(4) 議案書に関すること：関係者との連絡調整。印刷・封入・送付。記録・保管。

(5) 学術誌、各研修案内等印刷および郵送に関すること：関係者との連絡調整。印刷・封入・送付。記録・保管。

(6) 学会賞、県士会長賞等雑務に関すること：関係者との連絡調整。賞状・副賞等手配。記録・保管。

(7) 日本作業療法士協会会員管理システムに関すること：連動したシステム構築および運用。

(8) 儀礼関係、内外の送信に関すること

①年賀状送付：全国の作業療法士養成施設、全国の作業療法士会、県内関係団体、関係議員等への送付

3) 財務部

(1) 収入の管理：収入発生時、現金・普通預金出納帳への記入を行う。

(2) 支出の管理：出金の発生時、レシート・領収証等証憑の整理・管理及び現金・普通預金出納帳の記入を行う。

(3) 会計事務所との連携：月毎に出納帳、金種表などを利用し、月次資料を作成する。

(4) 予算の編成：各部の報告を受けて、予算の編成を行う。

(5) 資産の維持管理に関すること：銀行口座の引き落とし

(6) 公益目的保有財産の管理、運用

4) 厚生部

- (1) 会員間の福利厚生を管理を担当する。
- (2) 慶弔時の電報等の管理を担当する。
- (3) 保険関連の管理を担当する。

3. 教育・学術局

教育・学術局長： 笥 智裕

1) 生涯教育に関すること

(1) 教育・学術局：局長

①総会時研修Ⅰ「生涯教育制度の概要」 2020年6月7日予定 9時00分～9時50分

会 場：茨城県立医療大学 大講義室(111教室)

講 師：笥 智裕(茨城県作業療法士会 教育学術局長)

②総会時研修Ⅱ「茨城県作業療法士会 今後の展望」 2020年6月7日予定 10時00分～11時00分

会 場：茨城県立医療大学 大講義室(111教室)

講 師：大場 耕一(茨城県作業療法士会 会長)

*各病院・施設の作業療法部門責任者クラス(リーダー)への呼びかけを含む、全会員向けの研修とする予定。

③臨床実習指導者研修会 2020年度中に2回実施予定

会 場：未定 時期に関しても未定

*講師などは調整中

*詳細が決まり次第県士会HPへ掲載

(2) 基礎教育部

①第1回現職者共通研修 (予定)

会 場：茨城県立医療大学(予定) 2020年8月に開催予定

(予定テーマ)

「作業療法生涯教育概論」

「職業倫理」

「事例報告と事例研究」

「実践のための作業療法研究」

②第2回現職者共通研修 (予定)

会 場：茨城県立健康プラザ(予定) 2020年12月に開催予定

(予定テーマ)

「日本と世界の作業療法の動向」

「作業療法における協業・後輩育成」

「保健・医療・福祉・地域支援」

「作業療法の可能性」

(3) 専門教育部

①第1回現職者選択研修(選択) (老年期障害領域)

会 場：茨城県立医療大学 (予定) 2020年9月に開催予定

*講師などは調整中

*詳細が決まり次第県士会HPへ掲載

②第2回現職者選択研修(選択) (発達障害領域)

会 場：茨城県立健康プラザ (予定) 2020年12月に開催予定

*開催日・講師などは調整中

*詳細が決まり次第県士会HPへ掲載

③第3回・第4回現職者選択研修(必須) (生活行為向上マネジメント 基礎研修)・・・2回開催予定

会 場：未定 2020年6月と11月に開催予定

*開催日・講師などは調整中

*詳細が決まり次第県士会HPへ掲載

④生活行為向上マネジメント(MTDLP)研修 事例検討・・・2回開催予定

会 場：未定 2020年10月と2021年3月に開催予定

*発表者：生涯教育制度現職者共通研修「10.事例報告」を読替

*参加者：生涯教育制度現職者共通研修「9.事例検討」を読替

*開催日・講師などは調整中

*詳細が決まり次第県士会HPへ掲載

⑤生活行為向上マネジメント導入研修・・・2回開催予定

会 場：未定 2020年8月と2021年1月に開催予定

*開催日・講師などは調整中

*詳細が決まり次第県士会HPへ掲載

(4) 実践教育部

①中堅者研修会 (予定)

会 場：つくばセントラル病院 (予定) 2021年1月に開催予定

*経験年数5年以上の会員対象の研修会(受講料無料)年1回開催予定

*技術指導(オンサイトスキルトレーニング)：個別技術講習の実践もあわせて行なう。

*開催日・講師などは調整中

*詳細が決まり次第県士会HPへ掲載

(5) 学会部

第13回茨城県作業療法学会 第6回北関東信越ブロック学会

会 場：アール医療福祉専門学校

開催日：2020年11月に開催予定

共 催 (予定)：公益社団法人新潟県作業療法士会 一般社団法人群馬県作業療法士会

一般社団法人栃木県作業療法士会 一般社団法人長野県作業療法士会

プログラム：基調講演、教育講演、演題発表等 ※詳細が決まり次第県士会 HP へ掲載

2) 共催・後援研修会に関すること

- ①医療圏研修会・勉強会
- ②茨城県リハビリテーション実務者研修会
- ③茨城県リハビリテーション専門職協会による研修会
- ④茨城県介護予防リハビリテーション専門職養成研修

3) その他の共催研修会に関すること

- ①共催研修会の認定、研修会開催の周知
- *各研修会開催の詳細は県士会 HP へ掲載

4) 会員に学術向上に関すること

- ①茨城県作業療法士会機関誌 16号(2021. Vol. 15) 2021年1-2月に発刊予定

5) 医学中央雑誌への掲載

- ①茨城県作業療法士会機関誌 16号(2021. Vol. 15) が医学中央雑誌への継続掲載(予定)
- ⇒インターネット(医中誌)にて検索・閲覧可能

4. 地域貢献局

地域貢献局長：細田 忠博

1) 作業療法フェスタ運営部

- (1)「介護の日」企画・運営
- (2)OTフェスタの企画・運営
 - 9月:OTフェスタ in 水戸まちなかフェスティバル
 - 12月:OTフェスタ in 茨城ロボッツ
- (3)いばらき教育の日月間の企画・運営
- (4)各種イベントでの作業療法の啓発活動

2) 市民公開講座運営部

- (1)市民公開講座の開催
 - ・テーマ:「アンガーマネジメントについて(仮)」 11月開催予定
 - ・テーマ:「未定」 開催時期:未定

3) 制度対策部

- (1)保険情報関連の相談窓口の運営
- (2)福祉用具相談支援システムの運営(OT協会依頼事業)
 - ⇒監査にて委託事業という記載だと、協会からお金をもらって行っているという印象をうける。
 - 実際にはお金は発生していないため「依頼事業」等と記載したほうが分かりやすいとの指摘あり変更。
- (3)診療報酬改定の研修会開催

4) イキイキ地域づくり事業部

「介護保険」や「障害福祉」といった制度の枠内に関わらず、障害を持った方々と共に、安心安全な地域づくりの一助として、作業療法士の専門性を活かした活動を行う。

(1) 茨城県リハビリテーション専門職協会（IRPA）担当者の設置

IRPA との連絡調整と会議などの出席。

(2) 地域支援事業に関連した事業への対応

(3) 「聞きたい知りたい」出前講座

認知症、発達支援、精神（テーマを3つ）について、その道のベテランOTに講演をお願いする。目的は、地域住民が、住み慣れた場所で生活を継続していくための課題や強みを整理し、日頃の生活に役立つ作業を提案していく。社会資源や諸制度の活用を促し、健康の維持・増進など、その人らしい生活の獲得を目的とする。

(4) 障害福祉領域のOTのネットワーク構築

障害福祉領域の中で、特に就労支援については、今後OTの活躍が期待される。しかし、県内で就労支援に携わるOT士会員は非常に少なく、実態を把握しきれていない。市民公開講座を通して、ネットワークの構築を進めていく。

(5) 地域ケア会議人材育成研修

- ・地域ケア会議に、作業療法士が積極的に参加し、作業療法の視点から対象者が、自活していくための生活プランを提案していく。その結果、市町村全体の要介護度が軽減していくことを目指す。
- ・認定制度を設けて、人材の育成を促進していく。

5) コミュニティ・ディレクター統括部

(1) 各医療圏活動の企画・運営（ユーザー支援・研修会など）を統括する。

① 水戸医療圏：

- ・ユーザー支援事業 高校生への障害者体験（8月・3月）
- ・水戸まちなかフェスティバルOTブース出展（9月）
- ・あすなろ祭りボランティア（11月）
- ・ハロウィンパーティー（10月）

② 常陸太田・ひたちなか医療圏

- ・医療圏代表者会議（5月・9月）
- ・ユーザー支援事業 Tamariba参加（12月）
- ・ユーザー支援事業 地域の会（9月・11月）
- ・ユーザー支援事業 東海高校授業（11月）
- ・医療圏交流会（2月）

③ 日立医療圏

- ・医療圏交流会（5月）
- ・ユーザー支援事業 わいわいBBQ（10月）
- ・医療圏研修会（12月）

④ 鹿行医療圏

- ・医療圏交流会（6月）
- ・ユーザー支援事業：「フレンドボウリング大会」（11月）

⑤ つくば医療圏

- ・新人歓迎会（6月）
- ・医療圏代表者ミーティング（11月頃）
- ・ユーザー支援事業：障害者のためのパン作り教室（8月頃）
- ・ユーザー支援事業：陶芸教室（10月）

⑥ 土浦医療圏

- ・医療圏新人歓迎会、研修会（6月）
- ・親睦ボーリング大会（9月）
- ・ユーザー支援事業：脳損傷友の会「外出支援」（10月）
- ・ユーザー支援事業：工事能機能障害友の会「調理活動支援」（3月）
- ・医療圏研修会（7月・11月）

⑦ 取手・竜ヶ崎医療圏

- ・医療圏勉強会（6月頃）
- ・ユーザー支援事業：外出支援（10月頃）

⑧ 筑西・下妻医療圏

- ・ユーザー支援事業 認知症に関する勉強会 市民公開講座（12月）

⑨ 古河・坂東医療圏

- ・医療圏交流会（7月）
- ・ユーザー支援事業：第4回わくわく車いすバスケットボール体験会（11月）
- ・啓発活動：OT ってなんだっぺ（7月～8月頃）

5. 広報局

広報局長：山倉 敏之

県士会員および、県内外の一般の方や他職種に対しても広く作業療法を広報および啓発するための情報発信を管理する。

各部・局との連携を行なうとともに、局内部門を管理する。

広報・案内媒体として以下の手段を用いるとともに、それぞれに対する管理・運営を行う。

1) 啓発部

- (1) OT 啓発用 DVD の制作
- (2) OT 啓発用パンフレットの編集・発行・管理を行う（認知症サポーター養成講座や進路指導担当者会議等で配布）。
- (3) 茨城県作業療法学会での啓発活動
（教育・学術局との協働事業。啓発パンフレット、案内リーフレットの配布等。）
- (4) 進路指導担当者会議の開催（教育・学術局との協働事業）
- (5) 中高生・若年資格保持者・県士会未加入者に対し、入会促進を図る。

2) 広報編集部

- (1) ニュースペーパー、メールマガジンの編集・発行・管理を行う。

ニュースペーパーは年1回の発行を予定。関連団体（行政、医療・保健・福祉の各団体、他県士会等）へ送付予定。

メールマガジンは年4回程度の配信を予定。会員連絡網に登録された施設代表メールアドレスへ送付予定。

3) 宣伝部

- (1) ホームページ管理・運営（部・局間と協働事業）
- (2) Facebook・Twitter の管理・運営
- (3) 会員向けの情報発信に際し、メーリングリストからメールマガジンへの移行を進める（部間で協働）。
- (4) 市民公開講座の告知・広報を行う（地域貢献局との協働事業）。
- (5) OT フェスタの告知・広報を行う（地域貢献局との協働事業）。
- (6) 医療圏研修会の告知・広報を行う（地域貢献局との協働事業）。
- (7) 茨城県作業療法学会のポスター、チラシの作成・告知・広報を行う（教育・学術局との協働事業）。
- (8) 認知症サポーター養成講座の告知、広報を行う（啓発部および地域貢献局との協働事業）。
- (9) 一般の方や関係機関、に向け、県士会および作業療法（士）を案内するリーフレットの編集・発行・管理を行う。
- (10) 関係機関への協賛広告の編集・発行・管理を行う。
- (11) 関係団体・協力団体のリンクをホームページにて掲載・告知・管理を行う。
- (12) 茨城放送と共同でラジオ・インターネットテレビを媒体とした本会及びリハビリテーションの宣伝を行う。

6. 法人対策委員会

委員長：荒井 裕久

1) 令和元年度事業の資料の集約を実施する。また、令和2年7月に事務所にて法人対策委員会を開催し、事務所に保管すべき書類、不足書類等の確認と整理を行なう。

7. 災害対策委員会

委員長：寺門 貴

必要に応じて下記の活動を行なう。

- 1) 災害発生時に、迅速に当会の対応を協議し、体制の整備・支援にあたる。
- 2) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体（JRAT）や茨城 JRAT 等との連携を図る。
- 3) 会員に関する連絡関係については、日本作業療法士協会とも連携し、総務部と協働して構築する。

8. 障害と自動車運転支援委員会

委員長：大内 康雄

自動車運転支援における作業療法士の役割の啓発および支援体制の充実を図る。

- 1) 自動車運転支援の作業療法に関する研鑽や情報の発信（研修会の開催、イベントや地域活動等への参加）
- 2) 県内の自動車運転支援状況の把握とネットワークの構築（施設訪問、研修会への参加、紙面調査）
- 3) 認知症支援推進委員会との連携（VR 体験などを通じた地域活動）
- 4) 外部関連機関との連携（日本作業療法士協会運営と作業療法委員会、茨城県高次脳機能障害支援センター、行政）

9. 認知症支援推進委員会

委員長：山倉 敏之

- 1) 日本作業療法士協会の認知症作業療法推進委員会への参加

- 2) 第4回認知症支援アップデート研修会を1月開催(予定)、場所等は未定、他職種の参加も可
- 3) 認知症に対する理解を深める活動(認知症AR/VR体験会の出張開催)
- 4) 認知症AR/VRソフトの更新(新規、一部障害と自動車運転支援委員会と協働事業)
- 5) 認知症の人と家族の会 茨城県支部への支援
- 6) 他団体・行政等の認知症関連事業への支援・協力(認知症サポーター養成活動への協力等)
- 7) 各地域における認知症関係事業(認知症初期集中支援チームや認知症カフェ、認知症の人と家族の会、市町村独自の事業など)への会員の関与状況を把握する

10. 精神障害領域対策委員会

委員長：角田 和之

- (1) 研修会(年1回開催予定、対象は他職種、一般の方を含む)を通し各分野(医療・福祉・保健)・他職種との連携を強化
- (2) 災害等に備えた精神障害領域の作業療法士・施設間の連絡体制の推進
- (3) 精神障害領域の県士会未加入者への啓発を継続

11. がんの作業療法対策委員会

委員長：田口 智規

- 令和2年度企画提案型がん対策推進事業として、がんの作業療法をテーマとした啓発活動を実施予定。
※市民公開講座の場合は、地域貢献局と連携して開催する。

12. 子ども委員会

委員長：田中 亮

- 1) 子どもに関わる作業療法士を育成し、会員間の情報交換を促進する
 - (1) 子どもに関わる作業療法士向けの研修会の開催
- 2) 子どもに関する作業療法についての普及・啓発
 - (1) 地域に向けた研修会の開催
※市民公開講座の場合、地域貢献局と連携して開催
- 3) 日本作業療法士会および他会との連携
 - (1) 特別支援教育に関する県士会窓口業務の充実化

13. 選挙管理委員会

委員長：植田 千春

- 1) 令和3年6月に理事・監事の任期満了を迎えるため、令和3年3月に選挙公示をする予定。
- 2) その他、必要に応じて、選挙管理規程にそって公示・告示を行なう。

14. その他

常設委員会

【政策提言推進委員会】（委員長：中村茂美）

必要に応じて下記の活動を行なう。

- 1) 行政等に対し、茨城県民の生活の質の向上のために、作業療法士の視点で政策提言をする。

【学会実行委員会】（委員長：関智之・第13回茨城県作業療法学会 学会長）

- 1) 第12回茨城県作業療法学会（2020.2.9開催）実行委員より、第13回茨城県作業療法学会（2020.11開催予定）実行委員へ引き継ぎを行なう。

（令和1年(2019)度学会：第12回茨城県作業療法学会 学会長：浅野祐一 実行委員長：小野恵美）

（令和2年(2020)度学会：第13回茨城県作業療法学会 学会長：関智之 実行委員長：未定）

- 2) 第13回茨城県作業療法学会開催に向けて、会場の確保、講師の選定、その他準備のための会議開催等を予定。
また、当日の運営を担当する。（アール医療福祉専門学校にて開催予定。）

【表彰委員会】（委員長：大場耕一）

必要に応じて下記の活動を行なう。

- 1) 表彰該当者がいる場合、定款施行細則の表彰規程にそって理事会へ報告し、理事会がその決定をする。

【倫理委員会】（委員長：藤木真理子）

必要に応じて下記の活動を行なう。

- 1) 倫理問題事案への対応（必要な手続きの実施や日本作業療法士協会との連携等）
- 2) 倫理委員会規約の見直し

【規約委員会】（委員長：荒井裕久）

必要に応じて下記の活動を行なう。

- 1) 規約の作成、書類・様式の整理
- 2) 定款・定款細則・規約の変更に伴う理事会での審議

第4号議案 令和2年度(2020年度)収支予算(案)の件

収支(正味財産増減)予算書

令和2年(2020年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的	収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	当年度 予算	前年度 予算	増減
	事業会計	広告事業	共益事業	共通	小計					
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費・入会金	4,284,456	0	251,093	0	251,093	4,624,451	0	9,160,000	9,470,000	△ 310,000
研修収入	2,370,000	0	0	0	0	0	0	2,370,000	3,141,000	△ 771,000
広告料収入	0	160,000	0	0	160,000	0	0	160,000	120,000	40,000
その他事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	6,654,456	160,000	251,093	0	411,093	4,624,451	0	11,690,000	12,731,000	△ 1,041,000
(2) 経常費用										
事業費										
会場費	281,500	0	0	0	0	0	0	281,500	383,000	△ 101,500
謝金	1,012,000	0	0	0	0	0	0	1,012,000	1,378,018	△ 366,018
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	1,085,400	0	0	0	0	0	0	1,085,400	1,367,280	△ 281,880
会議費	362,500	0	0	0	0	0	0	362,500	377,480	△ 14,980
交際費	23,000	0	0	0	0	0	0	23,000	12,000	11,000
保険料	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	127,000	△ 27,000
通信費	158,200	0	0	0	0	0	0	158,200	316,700	△ 158,500
消耗品費	348,000	0	0	0	0	0	0	348,000	312,000	36,000
印刷製本費	1,067,786	0	0	0	0	0	0	1,067,786	1,350,614	△ 282,828
広告宣伝費	158,000	0	0	0	0	0	0	158,000	158,000	0
支払手数料	116,000	0	0	0	0	0	0	116,000	1,648	114,352
減価償却費	79,056	0	0	0	0	0	0	79,056	86,538	△ 7,482
事務用品費	66,388	4,023	8,047	0	12,070	0	0	78,458	119,252	△ 40,794
賃借料	392,127	23,765	47,531	0	71,296	0	0	463,423	463,423	0
ホームページ管理費	217,492	13,181	26,363	0	39,544	0	0	257,036	263,688	△ 6,652
委託費	380,754	23,076	46,152	0	69,228	0	0	449,982	346,932	103,050
役員報酬	175,800	12,000	18,000	0	30,000	0	0	205,800	200,700	5,100
給料手当	623,760	0	0	0	0	0	0	623,760	618,000	5,760
法定福利費	6,693	0	0	0	0	0	0	6,693	6,693	0
運営手数料	0	0	105,000	0	105,000	0	0	105,000	275,000	△ 170,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費										

役員報酬	0	0	0	0	0	210,200	0	210,200	181,300	28,900
給料手当	0	0	0	0	0	415,840	0	415,840	412,000	3,840
法定福利費	0	0	0	0	0	4,462	0	4,462	4,462	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	567,639	0	567,639	544,848	22,791
通信費	0	0	0	0	0	896,407	0	896,407	334,003	562,404
事務用品費	0	0	0	0	0	22,129	0	22,129	33,635	△ 11,506
印刷製本費	0	0	0	0	0	266,735	0	266,735	512,661	△ 245,926
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	85,800	0	85,800	85,800	0
委託費	0	0	0	0	0	126,918	0	126,918	97,853	29,065
賃借料	0	0	0	0	0	130,709	0	130,709	130,709	0
支払手数料	0	0	0	0	0	1,813,052	0	1,813,052	1,772,910	40,142
交際費	0	0	0	0	0	237,500	0	237,500	560,400	△ 322,900
寄附金	0	0	0	0	0	73,000	0	73,000	129,000	△ 56,000
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	0	10,000
租税公課	0	0	0	0	0	12,200	0	12,200	1,200	11,000
ホームページ管理費	0	0	0	0	0	72,497	0	72,497	74,374	△ 1,877
経常費用計	6,654,456	76,045	251,093	0	327,138	4,945,088	0	11,926,682	13,039,121	△ 1,112,439
当期経常増減額	0	83,955	0	0	83,955	△ 320,637	0	△ 236,682	△ 308,121	71,439
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	83,955	0	0	83,955	△ 320,637	0	△ 236,682	△ 308,121	71,439
法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	83,955	0	0	83,955	△ 320,637	0	△ 236,682	△ 308,121	71,439
一般正味財産期首残高	0	412,933	0	0	412,933	3,479,985	0	3,892,918	4,201,039	△ 308,121
一般正味財産期末残高	0	496,888	0	0	496,888	3,159,348	0	3,656,236	3,892,918	△ 236,682
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	496,888	0	0	496,888	3,159,348	0	3,656,236	3,892,918	△ 236,682

第5号議案 代議員制度導入の件

当法人では、令和4年度より代議員制度の導入を検討しており概要についてご説明する。

1. 代議員制度導入についての経緯

・現在は、総会決議について、定款にて「総会の決議は、総正会員の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該正会員の議決権の過半数をもって行う。」としており、決議の内容によっては総正会員数の半数以上であって総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって決議を行う必要があります。そうすると、会員数が多くなればなるほど全会員を一堂に集めて総会を開催すること自体が困難になる可能性があります。委任状による議決権の行使という方法もあるものの、会員数千人になると書面を集めるだけでも多大な労力と費用が必要で、現実的ではありません。よって業務効率向上、効率的な議論が可能である代議員制度の導入を検討している。

2. 代議員制度の概要（案）

- ・代議員制度の導入に伴い、代議員＝社員となり、代議員による社員総会の開催となる。
- ・代議員の定数については、医療圏ブロックでの正会員数の5%をもって選出される代議員とする。また、医療圏ブロックで1名以上選出することとする。
- ・代議員（社員）、代議員選挙管理委員会、社員総会に関する、任期、選挙、補欠代議員、辞任、社員資格の喪失に関しては、日本作業療法士会の定款に合わせて作成、変更をし、選挙や辞任に関する必要書式の作成も進めている。
- ・代議員制度導入後の社員総会でも、新人研修は開催することとし、新人作業療法士及び会員の代議員総会の傍聴も可とする。

3. 実施までの流れ（案）

- ・本総会にて会員へ報告・承認が得られれば、令和2年度に定款変更準備を実施していく。
- ・定款変更について令和3年度総会に会員より承認がいただければ、令和4年度から代議員制度を開始していく。

第6号議案 その他〔報告・案内〕

- 1) 外部監事の変更について (荒井総務部長)
- 2) 茨城県の立ち入り検査（第2回目）の報告について (荒井総務部長)
- 3) 新規入会方法等について (小森事務局長)
- 4) 今後の研修会等の開催方法について (寛教育・学術局長)
- 5) 第12回茨城県作業療法学会報告および第6回北関東信越ブロック学会への演者推薦について (宇都木学会部長)
- 6) 第13回茨城県作業療法学会（第24回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会・第6回北関東信越ブロック学会合同開催予定）の案内について (宇都木学会部長)

公益社団法人 茨城県作業療法士会 議案書

【発行】公益社団法人 茨城県作業療法士会

(事務局) 〒310-0034 茨城県水戸市緑町 3-5-35

茨城県保健衛生会館内 茨城県作業療法士会事務所

TEL:029-302-7092 FAX : 029-353-8475

【編集】大内康雄 (茨城県作業療法士会 事務局次長)

荒井裕久 (茨城県作業療法士会 総務部長)

【役員】(代表理事) 大場耕一

(理事) 寺門貴、小森裕一、山倉敏之、大内康雄、笥智裕、

細田忠博、荒井裕久、磯智和、武士直也、田口智規、若山修一、

唯根弘、柘植哲洋、宇都木淳弘、藤木真理子、吉田亮二、小坏仁美、

小田部直子、新堀拓、服部考彰、田中亮、小山貴士、土橋梓、関智之

(監事) 小泉秀樹、西マナミ

牛久印刷株式会社

〒300-1236 茨城県牛久市田宮町 531-27

TEL:029-872-4468